

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

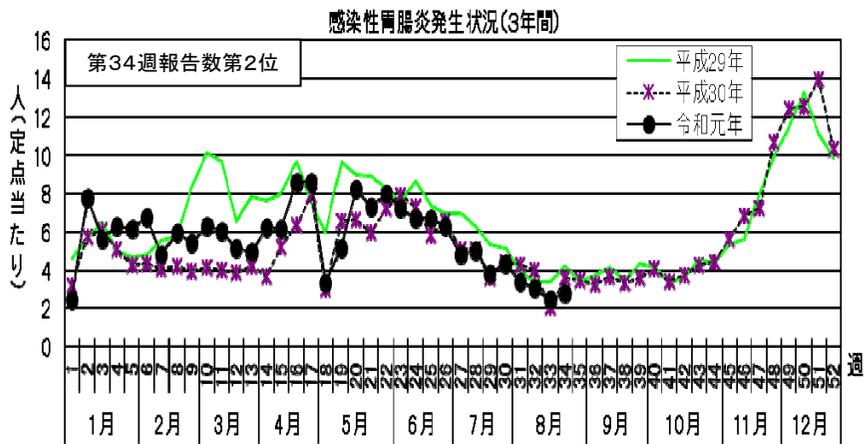
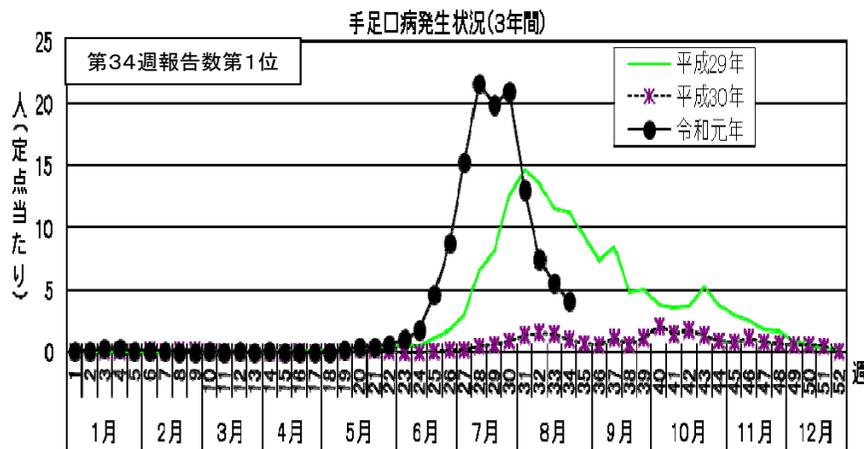
令和元年8月19日（月）～令和元年8月25日（日）〔令和元年第34週〕の感染症発生状況

第34週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。

手足口病の定点当たり患者報告数は4.09人と前週（5.57人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.78人と前週（2.43人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.22人と前週（2.25人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



蚊媒介感染症にはまだ注意が必要です！

デング熱は、蚊によって媒介される代表的な疾患の1つです。

今年の夏に海外でデング熱に感染し、帰国後国内で診断された患者は、タイやカンボジア、フィリピンなど東南アジアへの渡航者が多くを占めています。川崎市においても、令和元年第34週（8月19日～8月25日）に2件報告があり、いずれも東南アジアからの帰国者でした。

感染した人が蚊に刺されると、1週間ほどで蚊の体内でウイルス量が増え、その蚊に刺された人が感染する可能性があります。患者や周囲の人が蚊に刺されないための予防対策が重要です。

デング熱とは？

【感染経路】

デングウイルスを保有した蚊に刺されることで感染

【潜伏期間】

3～7日間

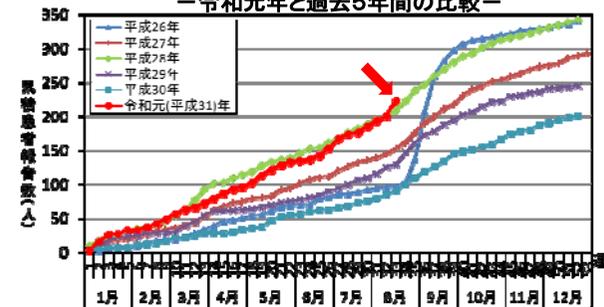
【主な症状】

- ・突然の発熱、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛
 - ・発症3～4日後に胸部など体幹に発疹
- ※デング熱の患者が重症化した場合、出血症状やショック症状などを呈するデング出血熱を起こすことがあります。

※デング熱が疑われる場合は、解熱剤等の使用に十分注意し、必ず医療機関を受診しましょう。



全国におけるデング熱累積報告数の推移
—令和元年と過去5年間の比較—



予防対策

屋外での作業時は、長袖・長ズボンを着用し、皮膚が露出する部分には、ディート又はイカリジン[※]を含む虫よけ剤を使用してください。
※6か月未満の乳児にはディートは使用できないため、イカリジンを使用してください。